| 容器名：W | 内容 | ―――――――――― |
|---|---|---|
| | 容器の貯蔵方法 | 常温 |

**適用検査項目と採取上の注意点**

**病理組織検査**

○　採取した組織片は乾燥させたり、ピンセット等で圧挫しないようにして、速やかに組織の 10 倍量を目安とした10～20%ホルマリン入り容器に入れ、常温保存してください。

○　2種類の大きさの異なる容器を用意しておりますので、採取した組織の大きさに合せて容器を選択してください。

○　免疫染色、遺伝子検査をご希望の場合は10%中性緩衝ホルマリンをご使用ください。

○　ホルマリン固定液は各施設にてご用意ください。